

■脅威・脆弱性一覧表(個人情報保護)

別表1

	脅威	脆弱性
電子ファイル及びデータベース		
①	DB及びファイルにアクセスし情報を書き換える	アクセス制御が設定されていない
②	DB及びファイルにアクセスし情報を持ち出す	ID、パスワードが設定されていないか適切に管理されていない
③	DB及びファイルにアクセスし情報を閲覧する	アクセス用のIDを複数人が共有使用している
④	DB及びファイルに権限のないものがアクセスし、誤動作を引き起こす	アクセス権限が定期的に見直されていない
⑤	印刷によるDB及びファイル情報の持ち出し	不要な人にアクセス権が設定されている
⑥	媒体等への情報の持ち出し	業務に必要な資源までアクセスできてしまう
⑦	データを改ざんする	クリアスクリーンが徹底されていない
⑧	データを盗聴する	不要な情報・メニューが表示されてしまう
⑨	データの不正なコピー/複写	印刷に対するルールが存在していない
⑩	データの削除	機密保持契約が締結されていない
⑪	データの破壊	重要度に応じた電子データの廃棄、複写、配布、開示等のルールが明確でない
⑫	入力間違いにより正しい情報が登録されない	正しく入力できるような対策がとられていない
⑬	覗き見	入力データのチェックができるような対策が施されていない
⑭	電子メール等で情報が漏洩する	データ送信時のルールやセキュリティ対策がない
書類及び紙		
①	紛失	保管場所等のアクセス制御がされていない
②	盗難	FAX用紙の管理方法が定められていない
③	覗き見	移送中の保護対策ができていない
④	不正な閲覧	重要度に応じた情報の取り扱いのルールがないか、明確になっていない
⑤	不正な複写/コピー	クリアデスクが徹底されていない
⑥	不正な持ち出し	保管時の適切な管理/ルールがないか明確でない
⑦	故意による不正な修正	個人情報の分類・識別ができていない
⑧	故意による不正な廃棄	ルールに基づいた廃棄、削除、複写が徹底されていない
⑨	放置	不要となった書類及び紙が適切に処分・廃棄されていない
⑩	窃盗、盗難	重要度に応じた書類及び紙の廃棄、複写、配布、開示等のルールが明確でない 書類及び紙が棚に無施錠のまま保管されている
⑪	法令の適用が受けられない。情報の管理がずさんのため、情報漏えいが発生する	重要度に応じた情報の分類分けがなされていない 重要度に応じた情報の管理がなされていない
メディア		
①	不正な持ち出し	輸送中の保護対策ができていない
②	不正な操作	机上や施錠されていない場所に放置してある
③	盗み見	個人PCが適切に管理されていない
④	盗聴	暗号化が施されていない
⑤	閲覧	許可なくメディアが使用されている
⑥	情報漏洩	メディアが適切に管理されていない 重要情報が格納されたレベルにラベル付けがされていない 許可なく外部に持ち出している 不要となったメディアが適切に処分・廃棄されていない